

授業科目(ナンバリング)	ホテル管理論(CB307) (実践的教育科目)			担当教員	井上英也 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	3年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
ホテルを成功に導くための、マーケティング、人事・労務、経理・財務などの運営管理理論を学ぶ。また、近隣のホテルを視察し、その理論がホテルの現場でどのように機能しているかを考察する。競争の激しいホテル業界の先端の管理手法を学ぶことにより、様々な産業にも通じる知識が習得できる。							②④⑤ ⑥⑦
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	マーケティング、人事・労務管理、経理・財務管理というホテル経営の根幹業務について、第三者に対して論理的に説明し理解させることができる。				定期試験 授業貢献	40% 20%	
情報収集、分析力	ホテルのみならず、ホテル業以外の幅広い産業分野のマーケティング、人事・労務管理、経理・財務管理についても情報を収集し、その話題に対し意見を述べるができる。				レポート	20%	
コミュニケーション力	積極的に授業に参加し、課題を掘り下げて考える習慣を持ち、自分の考えをクラスメートと共有することができる。				授業貢献	10%	
協働・課題解決力	パワーポイントを使ったプレゼンテーション（4～5名のチーム編成）で第三者を説得させることができる。				授業貢献	10%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>授業貢献 : 40% 質問、発言などの回数、グループワークへの貢献度合、授業態度などを観察法で評価。 定期試験 : 40% 持ち込み禁止の論述式で、主として宿泊業の産業特性に対する理解度を問う。 レポート : 20% 論旨・形式要件、およびプレゼンテーションをもとに評価。採点后、全体の講評を行う。 尚、テスト、課題・レポートなどへのフィードバックは、授業中あるいはManabaにおいて個別におこなう。</p>							
授業の概要							
<p>担当教員のホテル運営に関する実務的な経験・知見による実践的な授業である。第1段階:「プロダクト(製品)・マーケティング」と「サービス・マーケティング」について理解する。/ 第2段階:ホテルの組織・人事労務管理の基本的な考え方を学ぶ。/ 第3段階:経理・財務管理について学ぶ。/第4段階:顧客・社員・業績・社会貢献の観点から永続する会社について考察する。/ 第5段階:ホテル視察をし、その結果をグループ別にプレゼンテーションする。イマキクにより、適宜、理解度を確認する。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書 : 特に指定しない。 参考書 : 授業の中で適時指示する。 指定図書:「ストラテジック・マインド」大前研一(著)</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>①インターン/アルバイトなどの就業体験から身近にある会社の管理手法に興味を持ち、改善策を考えてみる。 ②「Hotel Management」および「ホテルビジネス英語」の履修により、ホテル運営に関する理解を深める。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	講義の進め方、講義内容、試験の方法などを説明する。	シラバスを読んでおく。
2	マーケティング	マーケティング全般の機能について学んだ上で、プロダクト（製品）・マーケティングとサービス・マーケティングの類似点、相違点について理解する。	マーケティングの一般的な役割について調べておく。
3		ホテル業界でのブランド・マーケティングについて学ぶ。	大手ホテルチェーンにどのようなブランドがあるか調べておく。
4		ホテルの市場調査や自社のデータ分析（SWOT分析、競合分析、売上分析）の手法を学ぶ。	ウェブサイトにある情報から、同一地域にあるホテル・旅館の比較を試みる。
5		架空のホテルの宿泊プラン、レストランイベント、宣伝プランなどマーケティング戦略を策定することにより、理論と現実の融合方法を学ぶ。	ホテルの商品プランをできるだけリストアップしておく。
6		ホテルの組織と人事の役割について学ぶ。	ホテル上場企業のIRレポートなどから組織図を調べておく。
7	人事・労務管理	ホテルの人事制度の全体像を学び、日本と欧米の人事の仕組みの相違点を理解する。	外資系企業の人事の特徴について調べておく。
8		人事評価の基本と、ホテルのキャリア・パス（人材開発）について学ぶ。	ホテルに就職したと仮定して、自分のキャリア・パスを考えてみる。
9	経理・財務会計	企業経営に必要な不可欠な財務諸表のなかで最も重要な損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書（財務三表）の基本を学ぶ。	財務3表に関する宿題を解く
10		ホテルの予算管理（予算作成と執行管理）の手法を学ぶ。	授業内容を踏まえ、予算編成がなぜ必要であるかを考える
11	バランス・スコアカード	ホテルの業績を正しく理解するための統合的な指標を学ぶ。	バランス・スコアカードについて調べておく。
12	ホテル施設インスペクションおよびプレゼンテーション	プレゼンテーションの基本を学ぶ	インスペクションのチェックリストを作成する
13		4～5名のチームを編成し、近隣ホテルの施設インスペクションを行う。	視察対象ホテルを事前調査しておく
14		チームごとにパワーポイントを用いてプレゼンテーションを行う。	チーム構成員同士のチームワーク醸成を目指す
15	総括	これまでのふり返り	本講座のさらなる改善のための提案をまとめておく
16	定期試験	論述式筆記試験	授業を振り返り、試験の準備をする。